



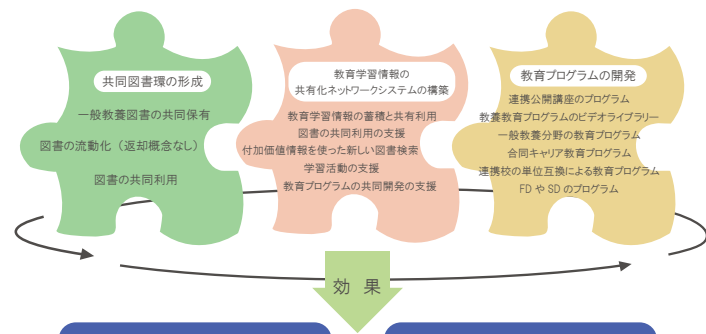
共同図書環（館）のネットワークシステムの構築



新たな教養教育プログラムの開発

事業の概要

この事業は、名古屋東部丘陵地域の5つの県立・私立大学と2つの公共図書館が連携し、図書館どうしの本の返却の概念をなくすことによる共同蔵書作りと、これに連動する新たな教育学習情報の共有化ネットワークシステムの構築をめざし、さらに各大学の多様な個性・特色を活かした教養教育プログラムの共同開発、キャリア教育やFD・SDの共同実施、公開講座の合同開催などに取り組むものです。

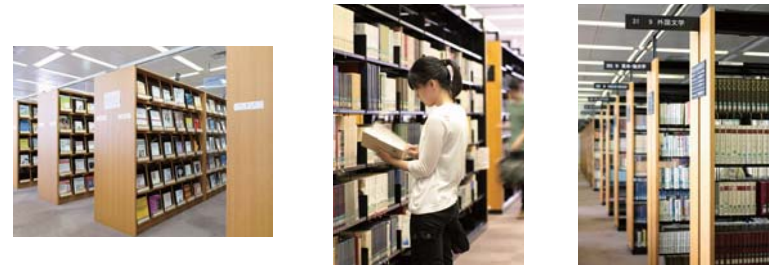


この取組により、連携校の「**図書の共同利用の促進**」「**学習図書館機能の充実**」「**教育研究水準の高度化**」「**地域社会のニーズに応えた教養教育の充実**」を進めることが可能となります。



事業の将来目標

1 1万冊程度の新規購入図書の共同蔵書構築からさらに進んで、各大学・自治体図書館の既存の教養図書の共同蔵書化



- 2 教育学習情報の共有化による学生の学習活動の一層の活性化
- 3 教養教育プログラムの成果を他の大学へ普及し、連携の輪を拡大
- 4 連携公開講座の成果により、地域に貢献する大学の「知の拠点化」を推進
- 5 SDによる図書館職員の交流やFDによる教員の交流の成果を、人事交流や施設の共同利用の促進につなげ、組織的統合を展望

事業の内容

- 1 図書の流動化（「返却」概念の揚棄）による「共同図書環（館）」の形成
- 2 新たな「共同図書環ネットワークシステムの構築」
- 3 連携校の多様な個性・特色を活かした「教養教育プログラム等の開発」

1 既存の図書館コンソーシアムでは図書のコピーサービスなどを行っていますが、図書の相互貸借は運搬経費の必要や個々の大学の図書管理の方法の相違などから進展していません。この事業では借りた図書は返却しないで借りた先が保管し、次の貸出に対応するといった「**図書の流動化**」によって、図書の貸出の効率化や利用者の利便性を高めます。

2 大学間で連携して独自の図書を共同保有、共同利用し、教育・学習活動を支援できる学習図書館「**共同図書環**」の構築を目指しています。その基盤として図書情報や教育学習情報の蓄積と共有利用を促進するための

3 連携校の多様な教育的特長（教育・芸術・医療・語学・情報・文化など）や専門性を活かし、新たな教育プログラムの開発や普及などを行います。

<想定する教育プログラム>
 連携公開講座のプログラム、教養教育プログラムのビデオライブラリー、一般教養分野の教育プログラム、合同キャリア教育プログラム、連携校の単位互換による教育プログラム、FDやSDの共同プログラム

「共同図書環ネットワークシステム（Tosho-Ring）」

を開発し、学習活動に関連した図書についての情報を共有利用する付加価値情報を使った新たな図書検索システムの構築と、大学を越えて学びあえるソーシャルネットワークシステムを目指します。

従来の図書館システム
 分類情報を使って探す
 (書名・著者名・出版社・分類情報・キーワードなど)
 ●ある程度の検索技術をも身につける必要がある
 ●漠然とした興味では探しにくい
 ●検索結果からどの本を選ぶべきかの判断しづらい

Tosho Ring 5つのチャレンジ
 1 付加価値情報を利用した図書の検索
 2 自由自在な情報の閲覧
 3 本の情報を共有する活動
 4 本の情報共有から学びあう学習支援へ
 5 複数拠点での図書の共同利用

実施体制



運営委員会を置いて事業運営を行い、その下に、図書部会と二つの部会を設置し、連携事業の実施調整等を行います。また、評価委員を置き、連携事業の評価結果を運営委員会にフィードバックします。

■お問い合わせ先 愛知県立大学学術情報課 大学連携チーム
 ■TEL 0561-64-1111 EX.5750
 ■ホームページ <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/dairen>
 ■e-mail dairen@lib.aichi-pu.ac.jp



ホームページはこちら